

事務事業マネジメントシート(平成31年度実績と令和 2年度計画)

令和 2年12月11日更新

事務事業名		合志市小規模治山事業				☐ マニフェスト関連 ☐ 全庁横断課題関連 ☐ 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	4	生活環境の健康			所属部	産業振興部	課長名	木永 和博
	施策	15	防災対策の推進			所属課	農政課	担当者名	長島 正和
	施策の柱	48	災害予防対策			所属班	農政班	(内線)	5223
予算科目		会計一般	款6	項2	目1	事業連番11497	根拠法令	合志市小規模治山事業補助金交付要綱	
終了、開始年度		☐ 31年度で終了 ☐ 31年度から開始				事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 19 年度) ☐ 期間限定複数年度 (年度)		

★事務事業の概要(PLAN)

【事業の内容】	土砂災害により被害が発生するおそれのある人家が伴う危険箇所において、人命・財産を未然に防止するため国、県の補助対象とならない小規模治山事業を実施する者に対し、要綱に定めるところにより、予算の範囲内において補助金を交付する。
【業務の流れ】	建物が2戸に渡って土砂災害の危険性を有する箇所、かつ合志市地域防災計画書に掲載された急傾斜山腹箇所をその所有者が改善する100万円以下の事業を行う際、その所有者が本事業申請を行い、要綱の定めるところにより補助金を交付する。補助率：事業費の1/2以内
【主な予算費目】	負担金、補助及び交付金
【意見や要望】	未然に防止することは大事だが、なかなか予測がつかないので対応できない。被害が起きた後も柔軟に対応してほしい。

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分
① 手段(主な活動) 31年度実績(31年度に行った主な活動)(DO)		2年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
令和元年度は0件 【基準に達しなかった理由】梅雨明けに工事施工予定であったが、梅雨時期の大雨により崩壊の範囲が広がったことから当初の計画では施工困難となった。被害があった箇所も含め復旧の工法検討を行ったところ、大型機械が必要であり納屋等の撤去が必要となることから施工は困難であるとの申し出により未実施となった。予算現額が50万円以上で執行率が80%未満		要望無し
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由
⇒ ア: 申請件数	件	補助金の減
⇒ イ:		
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等		② 対象指標(対象の大きさを表す指標)
市民(土砂災害の危険性を有する箇所に住む市民)		⇒ ア: 市指定急傾斜山腹箇所戸数
		⇒ イ:
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)
土砂災害危険箇所を改善する。		⇒ ア: 土砂災害危険箇所を改善できた戸数
		⇒ イ:
*③成果指標設定の理由と 2年度目標値設定の根拠		総トータルコスト 全体計画 ～ 年度
		0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	実績(決算)	30年度 実績(決算)	31年度 目標(当初予算)	31年度 実績(決算)	2年度 目標(当初予算)	3年度 予定	4年度 見込	5年度 見込
① 活動指標	ア	件		0	1	1	0	0	0	0
	イ									
② 対象指標	ア	戸		129	129	129	129	129	129	129
	イ									
③ 成果指標	ア	戸		0	1	0	0	0	0	0
	イ									
投資 入費 量	財源内訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
		一般財源	千円		450					
	(A) 事業費計		千円	0	450	0	0	0	0	0
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0
	人件費	正規職員従事人数	人	0	2	1	0	0	0	0
		延べ業務時間	時間	0	20	50	0	0	0	0
	(B) 人件費計		千円	0	79	198	0	0	0	0
	トータルコスト(A)+(B)		千円	0	529	198	0	0	0	0

事務事業名	合志市小規模治山事業	所属部	産業振興部	所属課	農政課
-------	------------	-----	-------	-----	-----

2 評価の部（CHECK）

*原則は31年度的事後評価、ただし複数年度事業は31年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①31年度目標達成度評価	☐ 達成した ☐ 達成しなかった ⇒【理由】
	②2年度目標達成見込み	☐ 目標達成見込みあり⇒【理由】 ☐ 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】
有効性評価	③成果の向上余地	☐ 向上余地がある ⇒【理由】 ☒ 向上余地がない ⇒【理由】 土砂災害を未然に防ごうとして事業に取り組む市民がいれば向上する。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	☐ 他に手段がある（具体的な手段、事務事業）⇒【理由】 ☒ 他に手段がない ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 国、県の補助対象とならない合志市独自の事業となるので他に手段はない。
効率性評価	⑤事業費の削減余地	☒ 削減余地がある ⇒【理由】 ☐ 削減余地がない ⇒【理由】 仕様や工法を適正に行うことで削減できる。
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地	☒ 削減余地がある ⇒【理由】 ☐ 削減余地がない ⇒【理由】 工法等の確認を建設課等に協力してもらい人件費の削減を行う。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】 市民の生命財産被害を最小限度に抑えることから市負担が1/2、受益者負担が1/2であり公正である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 役割分担は適正である ⇒【理由】 補助金交付事務のため適正である。

3 評価結果の総括（CHECK）

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（ACTION）

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統廃合・連携 ☐ 事業のやり方改善（有効性改善） ☐ 事業のやり方改善（効率性改善） ☐ 事業のやり方改善（公平性改善） ☐ 現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）		(2) 改革・改善による期待成果 （廃止・休止の場合は記入不要） <table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th><th colspan="3">コスト</th></tr> <tr> <th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td><td>向上</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>維持</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>低下</td><td></td><td></td><td></td></tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持																						
	低下																						
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策																							